

勝高 同窓会報

2024.12
Vol. 34



同窓会会長 就任のご挨拶



しくお願いいたします。

地元勝山に住んでいるもの一人として、同窓生が各地各所で活躍されている様を拝見するに、そのネットワークをなお一層構築できればすごいなと思わずに

十月十二日の勝山高校同窓会

総会にて、木下会長の後任として同窓会会長をさせていただくことになりました、どうかよろ

同窓会会長 今井 克己

はいられません。

歴代同窓会会長の皆様のご功績を見本にしながら、微力ではありますが同窓会活性化のお手伝いをさせていただくつもりでおります。もちろん勝山高校及びその生徒の皆さんにも、できうる最大限の応援をしたいと思っております。

今後とも、福井県立勝山高等学校同窓会よろしくお願い申し上げます。

退任のご挨拶



深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度10月12日の大同窓会総会をもちまして、勝山高校同窓会会長を退任致しました。思えば、平成21年に理事に就任し、平成25年より4年間を副会長として、そして平成30年より6年間会長として同窓会運営に携わらせて頂きました。

会長就任中には、新型コロナウイルスの影響で活動が制限された時期もありましたが、理事の皆さんの協力を頂いて、いろいろと改革も行っていました。

①【大同窓会の運営方法の変更】実行委員の負担軽減の為、教育会館大ホールでの開催を勝山ニューホテルに移管して実施。その後、スキージャム勝山に変更。

同窓会前会長 木下 克則

②【ホームページの新設】全同窓会会員へ配布していた同窓会会報でしたが、郵送費高騰の煽りを受けて、協力金にご協力頂いた会員のみ発送することとしました。それに伴いホームページを新たに開設し、

そちらでも会報を閲覧出来るようにしました。

③【各支部への活動助成金の支援開始】勝高同窓会東京支部・関西支部の活動に対して、助成金の支援を行うこととしました。

などなど、数限りない出来事が思い起こされますが、これもひとえに同窓会会員の皆様の温かいご支援のおかげと深く感謝申し上げます。会長退任後は、名譽顧問として微力ながら同窓会活動を応援してまいりたいと思っております。

最後に、今後とも今井会長新体制のもと更なるご支援ご協力をお願いし、勝山高校同窓会が更に発展されることを祈念して、退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。

ごあいさつ



謝申し上げます。

本校は令和4年度から探究特進科を新設し、普通科も含めて探究活動に力点を置いた教育活動に取り組んでおります。その探究成果の発表する「学びの祭典」を7月にジョアリーナにおいて盛大に開催いたしました。保護者および市内の中学生のみなさんを含め、ご支援いただいている方々総勢230名以上の方にご来場いただき、たいへんな盛り上がりとなりました。生徒はこの探究活動を通して、自ら

考え自ら行動する姿勢が大きく身につけてきていると感じています。今春の卒業生は京都大学に2名、大阪大学に1名の合格者を輩出しました。学校全体に学習に対して主体的に取り組む雰囲気が出て来ていると感じております。

部活動においては、男子バドミントン部が、インターハイと国民スポーツ大会（旧国体）に出場しました。また日本文化部は、全国高校生太鼓甲子園に出場し、第2位にありたる優秀賞を獲得するという快挙を成し遂げました。

令和9年度には、高校校舎の横に新勝山中学校が開校する予定です。本校の玄関や特別教棟も新しくなり、図書館機能を持つメディアセンターなどが設置され、学ぶ環境がどんどん良くなる予定となっております。

会員の皆様におかれましては、今後とも母校の活動を見守っていただくとともに、このようにどんどん「シンカ」していく勝山高校を今後とも引き続きご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

勝山高等学校 校長 朝倉 剛司

同窓会会員の皆様には、寄付金による部活動等への支援やふるさと納税による支援など、毎年多大なるご協力をいただき、あらためて深く感謝申し上げます。

「勝高生と東京勝高会との探求対話」活動報告

勝高同窓会東京支部長 出口 忠夫

東京勝高会は、昨年（2023年）12月4日に新宿で行われた「勝山高校2年生105人による探求学習発表会」に参加し支援活動を行いました。探求学習とは生徒自ら課題を設定し、解決に向けて情報収集・分析を経て自分なりの解答を提示するプロセスです。

探求学習発表会では105人の生徒が26のグループに分かれ、一人ひとりが探究結果を発表します。これはラウンドテーブル型発表表と言います。私たち東京勝高会のメンバーが一人ずつそのテーブルに入り感想やアドバイスを行う役割を担うことになりました。朝倉校長先生からの要請を受け東京勝高会の皆さんに声掛けし協力を仰ぎました。しかし私含めこうした経験は誰もありませんので、本当に集まるだろうかと不安でしたが、何と23名の多くの方の協力を得ることができました。

参加した方からは「生徒の探求タイトルは多種多様で、楽しかったし何より自分自身も考えさせられました」「何事にも実直に取り組む生徒の姿を見て将来は明るいと思いました」「将来の職業選択のきっかけにでももらえたら嬉しい」「生徒の真剣な取り組みに感動、私のこれからの励みにもなりました」「私が担当したグループは大変活発で、勝高として初の試みでしたが素晴らしい取り組みです」「学校の先生や両親以外に社会人と会話できる機会があるということは自分の将来に対して考えるきっかけになると思います。今後とも続けて欲しい」など参加への感謝とともに今後とも継続して欲しいという意見が圧倒的でした。

朝倉校長先生からは今年も12月に実施したいと伺っています。引き続き東京勝高会は全力で取り組みたいと考えています。



東京勝高会 役員名簿

現 体 制			
役 職	氏 名	卒回	
会 長	出口 忠夫	19	
副 会 長	鳥山 悟	22	
	山口 行雄	25	
	鳥山 昌則	29	
事 務 局 長	上杉 哲郎	28	
事 務 局 次 長	多田 治樹	38	
会 計	武田 新夫	22	
監 事	湯屋 基生	30	
	森下 啓子	26	
理 事	澤 藤子	26	
	森瀬 博信	31	
	土谷 沙織	49	
	佐々木悦子	8	
顧 問	金子 由成	9	
	前川 邦生	14	
	中村 秀男	7	
特 別 委 員	森内 俊司	12	
	吉川 誠	38	

次 期 体 制			
役 職	氏 名	卒回	
会 長	鳥山 悟	22	
	山口 行雄	25	
副 会 長	林 春夫	27	
	上杉 哲郎	28	
事 務 局 長	森瀬 博信	31	
事 務 局 次 長	多田 治樹	38	
会 計	武田 新夫	22	
監 事	伊藤 克博	26	
	森下 啓子	26	
理 事	澤 藤子	26	
	山内 憲二	28	
	勝見 行雄	32	
	土谷 沙織	49	
顧 問	中村 秀男	7	
	佐々木悦子	8	
	金子 由成	9	
	前川 邦生	14	
特 別 委 員	出口 忠夫	19	
	鳥山 昌則	29	
	湯屋 基生	30	
	吉川 誠	38	

大阪支部より

勝高同窓会大阪支部長 久保 佳巳

令和6年6月16日（日）、新阪急ホテルにて関西勝山会と合同で総会、懇親会を開催しました。新会長のもと益々盛り上げていきたいと思っております。関西に住む勝山高校出身の皆様、一緒に活動しましょう。よろしくお願ひします。



関西勝高会 役員名簿

役 職	氏 名
会 長	(新) 久保 佳巳
副 会 長	三好 芳江
会 計	(新) 東川 忠男
	東川 忠男
事 務 局	(新) 浅原 浩子
	浅原 浩子
監 事	駒井 博道
	小仲 繁子
理 事	山端 友子
	荒井 俊之
	山内 順子
	(新) 藤沢 博
	(新) 藤沢 光恵

生活委員挨拶運動



生活委員の生徒が生徒玄関前に立ち挨拶を呼びかけました。
元気のよい挨拶が飛び交っていました。

学びの祭典 7月16日(火)



7月16日に学びの祭典が勝山市体育館ジオアリーナで行われました。
2、3年生は自身の探究活動の成果発表を行い、1年生は参観者として上級生の発表を見て回りました。また、市内中学生や保護者をはじめとする地域の方々や外部の有識者の方々にもたくさん参加していただきました。

勝高オープンスクール 8月2日(金)

8月2日(金)に勝高オープンスクールを開催し、200名を超える中学生とその保護者にご参加いただきました。
参加した中学生は、在校生との交流会を行った後、自分の興味に合わせて、学校探検や部活動の見学を行いました。



受付の様子



在校生との交流の様子

部活動見学の様子



京都大学訪問

8月5日(月)

8月5日(月)に2年生の希望者が京都大学を訪問しました。
現役京大生から大学での学問や研究、研究施設、研究方法などについての話を聞いたり、キャンパス内を見学したりして、学習や進学への意欲が一層高まりました。



部活動の記録

日本文化部

7月28日(日)



7月28日に富士山交流センター(静岡県)にて開催された「第13回全国高校生太鼓甲子園」において、本校の日本文化部が優秀賞(準優勝相当)を受賞しました。

バドミントン部

7月30日(火)



7月30日から佐賀県で開催されたインターハイに、本校の男子バドミントン部、宮川・田中組が男子ダブルスに出場しました。

本年度も勝山高校に活動費の支援として 金20万円を寄付させて頂きました

令和6年7月11日(木)に木下会長が勝山高校を訪問し、朝倉校長に、部活動をはじめ生徒たちの活動費用の支援として金20万円を寄付しました。

この事業は今年で15回目を迎えますが、勝山高校の部活動で有効に活用されています。これもひとえに、会員の皆様からご協力頂いています「会報協力金」のおかげであり、深く感謝申し上げます。今後も勝山高校の更なる発展のために、この事業を通して支援してまいりますので、皆様方の多大なるご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



勝高同窓会報は、
勝高同窓会ホームページから
見ることができます。

勝山高校同窓会

検索

<http://www.katsukou-dousoukai.com>



勝山高等学校同窓会役員 (R6.10.12～)

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	今井 克己	昭51	常任理事	山内 嘉祐	昭59
副会長	山岸登美子	昭55	〃	森石 義浩	平元
〃	宮塚 和彦	昭54	〃	三屋 久美	平2
会計	横川 淳史	平24	〃	坂 峰太郎	平4
監査	川嶋 正己	昭60	〃	柳原 直人	平8
〃	小山 康之	平6	〃	山川 雄三	平8
名誉顧問	木下 克則	昭51	校長	朝倉剛司 先生	
常任理事	大道真知子	昭51	教頭	青木慎恵 先生	
〃	榎家 慎一	昭55	事務局	鈴木沙貴 先生	
〃	石畝 正樹	昭56			



令和5年度 決算報告

■収入の部

項 目	令和5年度決算
1 前年度繰越金	3,174,017
2 入会費	666,000
3 同窓会会報協力金	414,421
4 銀行受取利子	21
5 その他	60
合 計	4,254,519

■支出の部

項 目	令和5年度決算
1 同窓会報	
(1)会報誌・協力金チラシ印刷	81,950
(2)会報誌発送宛名ラベル用紙代	0
(3)郵送料	31,020
小 計	112,970
2 大同窓会実行委員会事務費	28,464
3 大同窓会補てん金	350,450
4 同窓会名簿更新作業	65,065
5 寄付金(勝高)	200,000
6 卒業証書筒	80,542
7 事務委託	60,000
8 事務局事務消耗品・通信費	12,768
9 払込手数料	17,345
10 支部助成金	100,000
11 雑 費	82,872
12 予備費	212,300
合 計	1,322,776
差引翌年度繰越	2,931,743

『再出発』

勝山高校時代には、スキー部として活動。平成22年に勝山高校を卒業、大学進学後も、全日本で優勝したり世界で活躍したりする選手を目指し、スキー競技に打ち込みました。努力を継続した結果、世界選手権やW杯出場、全日本優勝、国体優勝といった活躍をすることができました。しかし、徐々に思うようなパフォーマンスができなくなり、平成30年をもって、選手を引退しました。その当時を思い出すと、自分の思い描くような結果やパフォーマンスができない日が続き辛いときだったなと感じています。そのような中でも、現役最後の年に福井国体の前哨戦として行われた新潟跳ね馬国体で、勝山高校卒業生4人でリレーを組み、優勝できたことはとても誇らしく、感動したこと出来事でした。その当時は、もうやり切ったという思いで、引退したことを覚えています。

その後、私は教員となりました。授業や学校運営の仕事等忙しい中でも、生徒と関わり、一緒に活動する日々は本当に充実したものでした。スキーの活動は、地元の中学生や高校生と運動する程度になりましたが、これまで必死に練習した辛い日々だった頃とは違い、みんなと楽しんで運動することができました。また、様々な活動を通して、色々な生徒と関わる中で、一人一人自分の目標に向けて、自分のパフォーマンスをしようとする姿を見ると、私も自分のできることをできる範囲で一生懸命やろうと思うようになりました。そのことを、教員となったのちに出場する大会のときに意識し、周りのことは考えすぎず、自分に集中することを大切にしました。すると、練習量は十分とはいえない中でも、全日本優勝や国体優勝といった結果を挙げることができました。精一杯の自分の滑りをして、ゴールする楽しさを思い出しました。



令和5年のシーズンは全日本4冠、国体4連覇といった成績を残すことができました。その中で、小学校のときに卒業文集に将来の夢で書いたオリンピックにでるという目標に向けて、もう一度挑戦したいという気持ちがわいてきました。そのときに思ったことは『人生は一度きり。やらない後悔ほど悔いが残ることはない。』そう思うようになり、周りの人とも相談して、これまでずっと打ち込んできたスキーにもう一度挑戦する決意が固まりました。

再出発となります。私の可能性を信じて、完全にやりきるまで、競技に向き合いたいと思います。また、自分を応援してくださる方々への感謝やお世話になった地元勝山や福井県への恩返しという気持ちを忘れず、世界に向けて挑戦していきます。今後も、暖かい応援をよろしく願います。

宇田 崇 二

令和6年10月12日

大同窓会

第23回

勝高大同窓会パンザイ

木下 秀樹

(昭和57年卒)

今年の大同窓会は、秋晴れの気持ちいい日となった10月12日に昨年と同様、スキージャンプ勝山にて盛大に開催されました。

本日に楽しい時間を過ごすことができ、同窓会役員、実行委員の方々のご尽力に心から感謝いたします。

当日は昨年以上の110人を超える参加者があり、水上勝山市長、朝倉勝山高校校長をはじめ多くの来賓の方々、また、恩師にも4人の参加を頂き、特に、昭和57年卒業生恩師の山崎、沢田両先生のお顔が拝見できてとても嬉しく感じました。

懇親会では、久しぶりの再会であっても、同窓生として同じ時間を過ごしてきた懐かしさや嬉しさで、学生当時の思い出や近況の報告など、どのテーブルでも大きな盛り上がりを見せていました。

また、アトラクションとしては勝山高校卒業生の元AKBメンバーの多田京加さんによるトークショーは例年にはない試みであり、大舞台で活躍する勝山高校卒業生の代表として山口茜さんや宇田崇二さんとともに同窓生みんなまで応援していききたいと感じました。

最後に校歌斉唱で散会となりましたが、本日に楽しい時間を過ごすことができました。あらためて、みなさん、ありがとうございました。

